

万博会場周辺の交通課題と対応案

令和6年2月15日

博覧会協会・大阪市建設局・大阪港湾局

夢洲会場周辺の交通課題と対策（全体像）

コンテナ車両及び工事車両の道路上待機による道路通行への影響の可能性



入場待機場所の確保、スムーズな入場による道路上待機車両の解消



【工事車両】

- ① 車両出入口増設 (3⇒8箇所)
- ② 工事車両待機場所等の確保 (観光外周道路の活用)
- ③ 建設作業員車両用駐車場等の確保 (1000台)

【物流車両】

- ④ 待機場の追加整備 (440台⇒700台分)
- ⑤ ゲート時間延長 (早朝・昼休み時間帯)
- ⑥ ゲート増設 (17⇒22ゲート)
- ⑦ CONPAS (R5年度本格導入)

⑧ 夢洲北高架橋前倒し完成、工事用として活用 (R6.12⇒R6.9未完成)

※万博会場の施工にあたる建設事業者等の意見も踏まえ、取組むべき課題をとりまとめ



※ 今後の調整状況により、変更となる場合がある。

【工事進捗状況】

- ▶協会発注工事（4工区・催事場等工事）、協会外発注工事（日本館・大阪館等）、インフラ工事を実施中
- ▶パビリオンA工事：R6.1～実施（R6.5より前倒し）
- ▶IR工事：R5.12～液状対策工事着手

【対策の進捗状況】

【工事車両】

①車両出入口増設

→3⇒4箇所

②工事車両

待機場所等の確保

→外周道路の活用について協会と合意

③建設作業員車両用駐車場等の確保

→300台供用開始

【物流車両】

④待機場の追加整備

→440台⇒520台

⑤ゲート時間延長

→R6.1.9～12（4日間）の早朝・昼休み時間帯に実施

⑥ゲート増設

→R6.3末にゲート増設整備完了（17⇒22）（システム改修別途要）

⑦CONPAS

→R5年度末 本格導入

○：重複影響箇所

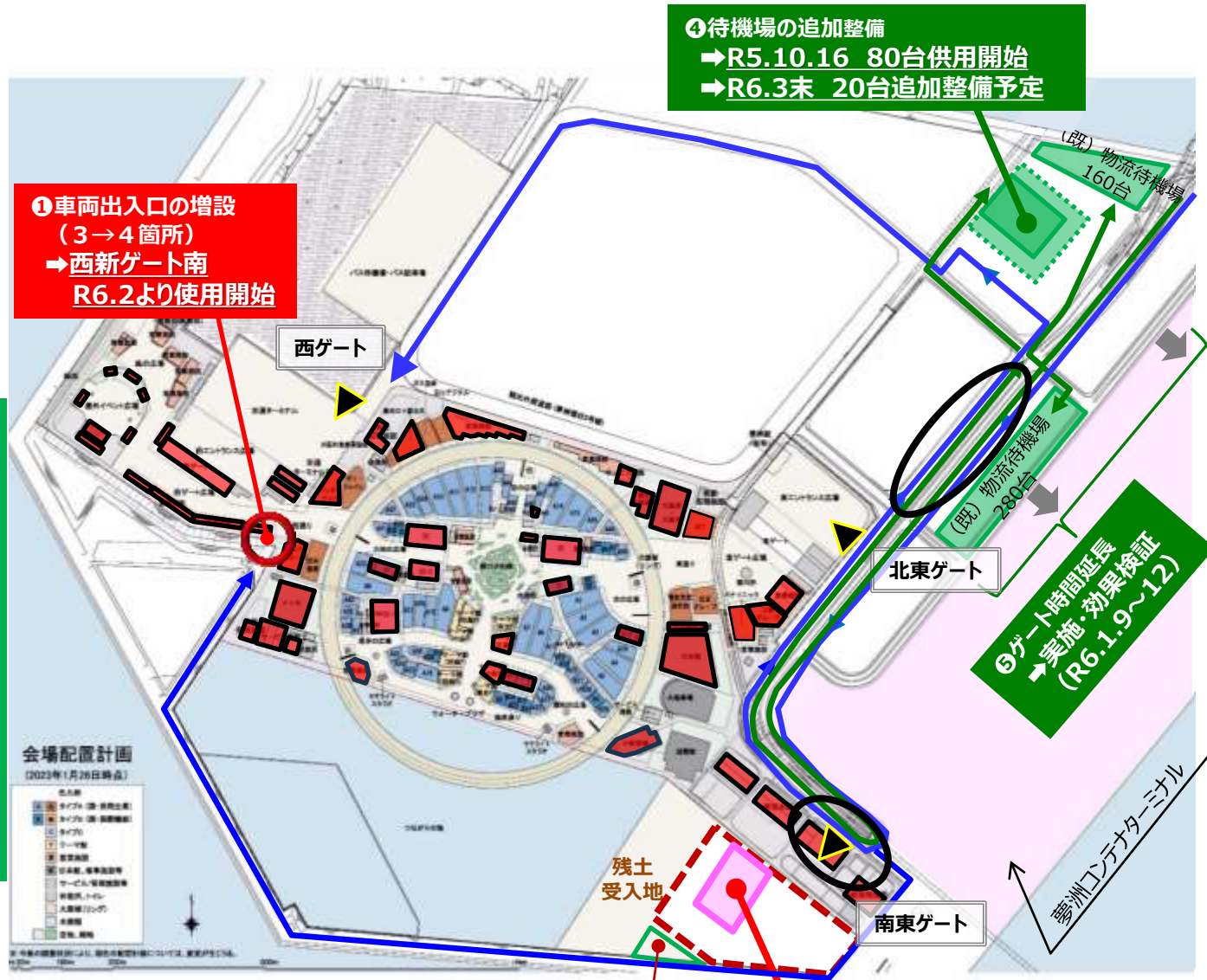
■：工事着手施設

←：工事車両ルート

←：物流車両ルート

▲：既設ゲート

○：新設ゲート



①車両出入口の増設
(3→4箇所)
→西新ゲート南
R6.2より使用開始

④待機場の追加整備
→R5.10.16 80台供用開始
→R6.3末 20台追加整備予定

⑤ゲート時間延長
→実施・効果検証
(R6.1.9～12)

③建設作業員車両用駐車場等の確保
→R6.2より300台分供用開始

※ 今後の調整状況により、変更となる場合がある。

【工事進捗状況】

パビリオンA工事の本格化に伴う
更なる車両の増加

【対策の進捗状況】

【工事車両】

① 車両出入口増設

→4⇒7箇所

② 工事車両
待機場所等の確保

→西新ゲートの使用開始
とともに外周道路
(一部)を待機場所
として確保

③ 建設作業員車両用
駐車場等の確保

→500台供用開始

【物流車両】

④ 待機場の追加整備

→520台⇒540台

⑤ ゲート時間延長

→道路待機車両解消
に向けて適宜実施

⑥ ゲート増設

→運用に向けたシステム
改修中

⑦ CONPAS

→R5年度末より運用開始

- : 重複影響箇所
- : 工事着手施設
- : 工事完成（予定）施設
- ← : 工事車両ルート
- ← : 物流車両ルート
- ▲ : 既設ゲート
- : 新設ゲート



※ 今後の調整状況により、変更となる場合がある。

【工事進捗状況】

万博関連工事の最盛期
※交通量（万博+IR+インフラ）が最も厳しい状況

【対策の進捗状況】

【工事車両】

【物流車両】

① 車両出入口増設

→7⇒8箇所

④ 待機場の追加整備

→540台⇒700台(R6.12)

② 工事車両待機場所等の確保

→北東新ゲートの使用開始とともに外周道路全周（1/3車線）を待機場所として使用

⑤ ゲート時間延長

→道路待機車両解消に向けて適宜実施

③ 建設作業員車両用駐車場等の確保

→1,000台供用開始

⑥ ゲート増設

→運用に向けたシステム改修中

⑦ CONPAS

→R5年度末より運用開始

⑧ 夢洲北高架橋前倒し完成、工事用として活用

→R6.12⇒R6.9末完成

- ：重複影響箇所
- ：工事着手施設
- ：工事完成（予定）施設
- ←：工事車両ルート
- ←：物流車両ルート
- ▲：既設ゲート
- ：新設ゲート



■ 会場周辺の交通課題の対応スケジュール

		令和6年												令和7年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工事車両対策	①車両出入口	3か所	4か所			7か所			8か所		7か所	8か所				
	②観光外周道路での待機場所					観光外周道路の活用（約1,500m） ※概ね150台分				観光外周道路の活用（約2,000m） ※概ね200台分						
	③建設作業員の駐車場等	0台	300台			500台		1000台								
物流対策	④待機場の整備	520台			540台						700台					
	⑤ゲート時間延長							実施（物流車両や工事車両の多い時期を対象）								
	⑥ゲート増設	増設工事			システム導入・設備類整備						運用					
	⑦CONPAS	準備			本格運用											
⑧夢洲北高架橋の前倒し		高架橋整備						工事車両車両への通行を活用								

※ 万博関係者の通勤車両の削減等に寄与するよう、Osaka Metro中央線の夢洲駅までの鉄道運行を万博開幕の2か月以上前の令和7年1月末に開業できるよう取り組む

(観光外周道路での待機場所の確保イメージ図)

